



令和7年
(2025年)
2月号
Vol.62

もちのき

(社会福祉法人愛の森広報紙)



[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山 14-2(Tel:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之

雨にも負けず、風にも負けず、ならぬ…

1年前の年末年始に続き、今回も年末から年始にかけて、感染症の洗礼を受けることになってしまった我が学園。前回は新型コロナ、今回は季節性インフルです。

利用者さん、そして年末年始の帰省を楽しみにしておられたご家族には申し訳なかったのですが、幸いにして重症化する方はおられず、また、男女2つの生活エリアのうち、女性エリアには波及しないで収束を迎えることができましたので、まずはほっとしているところです。

しかしながら、年明けのご家族との会合では、改めて「皆がよく触れる部分の消毒なども含め、再度感染症対策を徹底すべき」といったご指摘をいただきました。

状況に応じてマスクを着けたり外したり、などという、感染症対応が当たり前の日々が続くなか、「意識しないうちに日々の対策が漫然化していなかったか」といえば、反省すべきところが大いにあるのではないかと考えます。

利用者さんの日々の生活の質の維持・向上が私たちの常なる最優先命題ですが、一方で見えない「敵」との闘いが「日常」となってしまう昨今、常なる適切な感染防御を通じ、しっかりと感染症との対峙も実践(実戦!?)していくことを、改めて肝に銘じたいと思います。

コロナにも負けず、インフルにも負けず、(中略)、そういう学園に、今年になりたい!

「もちのき」編集長の **あいのもり ふくろう** です。2月号は去年から恒例(笑)の「初モノ」特集です。利用者さんの初夢はなかなかお伺いすることができませんが、その分、今年初めての各種イベントや日課などの状況を、外部講師の方や担当者のコメント・今年の抱負などとともに、実況させていただきます!

なお、いただいたコメントはご趣旨等を損なわないと考える範囲内で適宜補足その他させていただきますので、ご了承ください。

[遠藤 岳洋、國分 隆之]



[初往診]

毎月の診察や予防接種など…、今年も宜しくお願い申し上げます ~ 1月7日(火)

毎月第1火曜日は、嘱託医である大山泰弘先生(海老名西口こころの診療所院長)のご来園日です。

利用者さんの日頃の様子など、医務や支援の担当職員からの説明をお聞きになりつつ、利用者さん一人ひとりとお話をしながら、診察をしていただきます。

午前中一杯かかっている診察の後は、幹部職員とのプチミーティング。利用者さんに関する情報共有や学園での感染症対策等の報告・ご指導等を毎回行っています。

ご多用ななか毎月必ずご来園くださる大山先生、本当に有難うございます。年始にあたり、コメントをいただきました。



🐼 本年も引き続き、お薬はなるべく必要最小限に、を心がけて診療をしてまいりたいと存じます。よろしくお願いいたします。

[担当:岡田 奈津美(医務担当(看護師))]

[理美容始め!] 利用者さんの「すっきり!」のために今年もよろしく! ~ 1月8日(水)

毎月第2水曜日、市内の「グリーン美容室」の皆様による訪問理美容は、利用者さんが毎回楽しみにされている日課の1つ。

学園でのヘアカットを希望される方が増えつつある昨今、毎回3人でいらっしゃる美容師さんは大忙し。学園のみならずグループホーム利用者さんからのご希望もあるため、場合によってはさばききれないことも💧。



👤 今年一年も心を込めた対応を通じ、皆様の生活が明るく楽しくなるよう、丁寧な整髪を心掛けます!
[担当:羽田 翔平]

[歌い初め!] 日々の生活のなかでの「音楽」により、今年も豊かな生活を! ~ 1月8日(水)

松本真弓先生の伴奏と甲谷由美子先生によるコーラス指導は、学園の日課のなかでも長い歴史を誇る、定番の日課です。月二回の音楽の時間には、ピアノの音と元気な歌声が2階ホールに隣接する職員室にも聞こえ、ほのぼのとした雰囲気を共有させていただいています。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



👤👤 (時間内で行ういくつかのカリキュラムの中に)

「手合わせ」がありますが、このときは、普段なかなか、椅子に座っておられない方もやって下さったりします。個性豊かな利用者さんたちですので、こういったタイミングを通じて「おひとりずつと関わる」ことを、これからも大切にしていきたいと思っています。

音楽って、本当に楽しいものだと思います。日々の生活のなかで、「音楽」がより利用者さんの生活を豊かにしていけるよう、私たちも頑張っていきたいと思っています。

[担当:伊藤 恵美]



[初訓練!] 「防災訓練始め」は、座学から! ~ 1月9日(木)

学園の防災訓練は、年間計画に従って、概ね一月に一度、様々な状況を想定しての訓練を行います。年初である一月は、避難経路や災害備蓄の確認等のための座学に充てることが多く、二月以降、火事、地震等、様々な想定のもとに、避難訓練や消火訓練などを行っていきます。

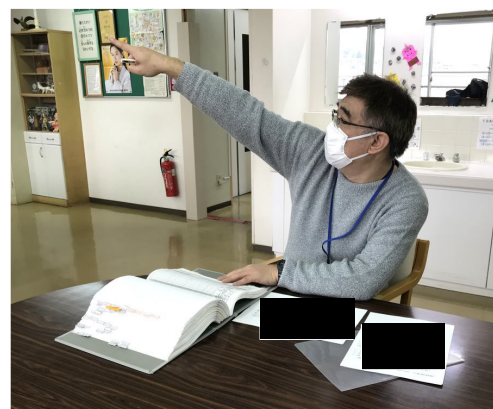
防災担当👤からの年初の決意表明です!

👤 防災訓練は毎月やっていますが、日本は災害の多い国、「あるという前提で」訓練が漫然化しないように色々工夫します。

利用者さんに参加をお願いしての避難訓練は毎回大変熱心に参加してくれています。

利用者さんの高齢化などが進むなか、各利用者さんの状況に応じて職員の対応力がよりアップできるような訓練も企画したいと思っています。

[担当:萩原 康弘、羽田 翔平]



[初美術!] 今月のお題は、お正月らしく、「雪山 初日の出」! ~ 1月14日(火)

「もちのき」を毎月、最後の日誌まで読んで下さる方は、「遊美術」での作品の写真、楽しんでくださっていると思います。利用者さんの個性も勿論興味深いですが、毎月のテーマやお題が多岐にわたっていることにも感服です。絵から色々な造形に至るまで、毎月、利用者さんのご興味を惹くテーマを考えてくださる、土屋眞知子先生の企画の豊富さには、本当に脱帽です。今月は、お正月らしく、「雪山 初日の出」の絵を利用者さんにご指導いただきました。

👤 とにかく楽しく「描き」、「作る」こと! 楽しくやれば、結果、どんな絵画も作品も、楽しいものができあがります! この思いで、今年も、月に一度の「遊美術(あそびじゅつ)」の時間を、利用者さんと一緒に楽しく過ごしたいと思います! [担当:佐藤 由]



[初ホリデー日課!] シャトルとともに厄飛ばせ! ~ 1月18日(土)

毎月土曜日のうちの1回を、当番の支援員が「考え抜いた!」企画で利用者さんに楽しんでいただく「ホリデー日課」。今年の初回は、園庭で久しぶりのターゲットボードゴルフ。コロナ禍以前、森の里自治会の方々と楽しんでいた企画です。

「厄年」の方の「厄払い」や「感染症払い」など、様々な願いも込めつつ、寒い中ではありましたが、思い思いに身体を動かしました。久しぶりの「ナイスショット!」🏌️🏌️🏌️を、懐かしく、楽しみました。

😄 今年も皆さんに楽しんでもらえるよう、各月担当とともに、定番企画、意外性のある企画、ともに知恵を絞ります。

[担当:鈴木 和志]

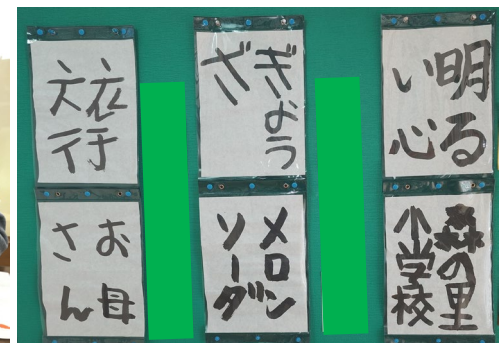


[書初め!] 「今年やりたいこと!」を筆に込め! ~ 1月22日(水)

「お題」は、近年恒例の「今年やりたいこと!」。心のどこかで「去年と同じになっちゃうかな」と思いつつ伺うと、「明るいいで過ごしたい」「メロンソーダ飲みに行きたい」「一泊旅行に行きたい」等、新しいご要望が次々と!

思い思いの「やりたいこと」の見本作成には一寸難儀しましたが💦、二文字から(普段はない)六文字まで、上手に半紙に収めてくださいました。

👤 今年も皆さん、元気に楽しく過ごせますように! そして、筆に込めた「やりたいこと!」が、是非とも叶いますように! [担当:滝沢 景子]



**[初エアロビ!] 表彰続きの愛の森エアロビチーム、25年の長きにわたり
ご指導いただいている高柳絹枝先生に独占インタビュー！ ～ 1月16日(木)**

🐼 昨年度に続き今年度と、二大会続けて表彰されました。先生の長い間のご指導が、昨年一気に花開いたように思います。

🐼 愛の森学園のエアロビに携わるようになって25年近くになりました。

🐼 もうそんなに経つんですね。私が入職して間もない頃、先生が前任の三武先生のアシスタントで来られていた頃を覚えています。この間、色々試行錯誤とかもあったのでは？

🐼 はじめのうちは、レッスンのたびに、曲や振りを変えたり、色々試していたんです。そうしたらあるとき、同じ曲、同じ振付けを続ける方が皆さん安定して楽しんでくださる、ということを感じるようになりました。そんな(長いスパンの)なかで、利用者さんたちが、少しずつ変化や成長をしていかれる様子を把握できるようになりました。

🐼 なるほど、それは例えば…？

🐼 従前は(会場の2階サロンに)いらっしゃってもすぐに帰ってしまわれていた方が、1時間のレッスンの間を通じて楽しめるようになった、とか、一寸難しいかな、という振付けも少しずつ出来るようになっていったこととか…。本当に色々ありました。

🐼 なるほど、これこそ、長年のご指導の賜物だと思います。さて、今年はどんな展開を？

🐼 昨年11月に福島での大会に参加して賞をいただきました。一昨年も賞をいただき、県の授賞式にも参加いたしました。このことは利用者さんの大きな自信につながっている、と思います。賞をいただいた際の次の学園でのレッスンのときなんですが、そのとき学園におられた実習の学生さんに、利用者さんが振付けを教えてあげたりしておられたんですよ!!

自信もつき、また、真剣みが強くなってきている、ということを感じています。大会というものは、参加することそのものに意義があるというわけですが、賞を取るということもとても良い刺激になっているんだろうな、と思っています。

🐼 利用者さんが実習生の指導をされていた、というのはすごくよいお話ですね。びっくり!

🐼 今年は、次の大会まで少し間が空きます(※)。

(エアロビそのものは)勿論例年と同じですが、

(大会の時期にピークに持っていけるよう)、じっくり楽しく皆さんとやっていきます。

🐼 有難うございました。改めまして今年も宜しくご指導のほど、お願い申し上げます。

[担当:工藤 康裕 萩原 康弘 取材:武藤 祐生(いただいたコメントをインタビュー風に再構成)]

一月の「日誌」は、掲載スペースがなくなっていましたので、追ってエッセイにのみ掲載します。

※「全国アダプテッドエアロビ大会」日程
令和6年度は11月、7年度は来年3月



[神奈川県スポーツ優秀選手表彰(令和6年1月)]



[アダプテッドエアロビ福島大会あわき市長賞(令和6年11月)]